

1-2 動物

1-2-1 哺乳類

現地調査計画

調査の目的

対象事業実施区域及びその周辺に生息する哺乳類相及び重要な種の生息状況を把握するため調査を実施しました。

トラップ法は、対象事業実施区域及びその周辺に生息する小型哺乳類相の把握を目的として行いました。

フィールドサイン法は、対象事業実施区域及びその周辺に生息する中型～大型哺乳類相の把握を目的として行いました。また、過年度に生息が確認された重要な種エゾクロテン(情報不足：環境省レッドデータブック)について、対象事業実施区域及びその周辺におけるこれまでに現地調査が行われていない範囲を対象として痕跡の確認を行い、エゾクロテンの生息の確認を行いました。

コウモリ類調査は、対象事業実施区域及びその周辺に生息するコウモリ類相の把握並びに重要な種の確認を目的として行いました。

無人撮影法は、哺乳類相及び重要な種エゾクロテンに関する調査の補足として実施し、生息の有無や新たな哺乳類相の確認を目的として行いました。

ここでは、平成 16 年度に実施した調査のうち、10 月までの調査結果を報告します。

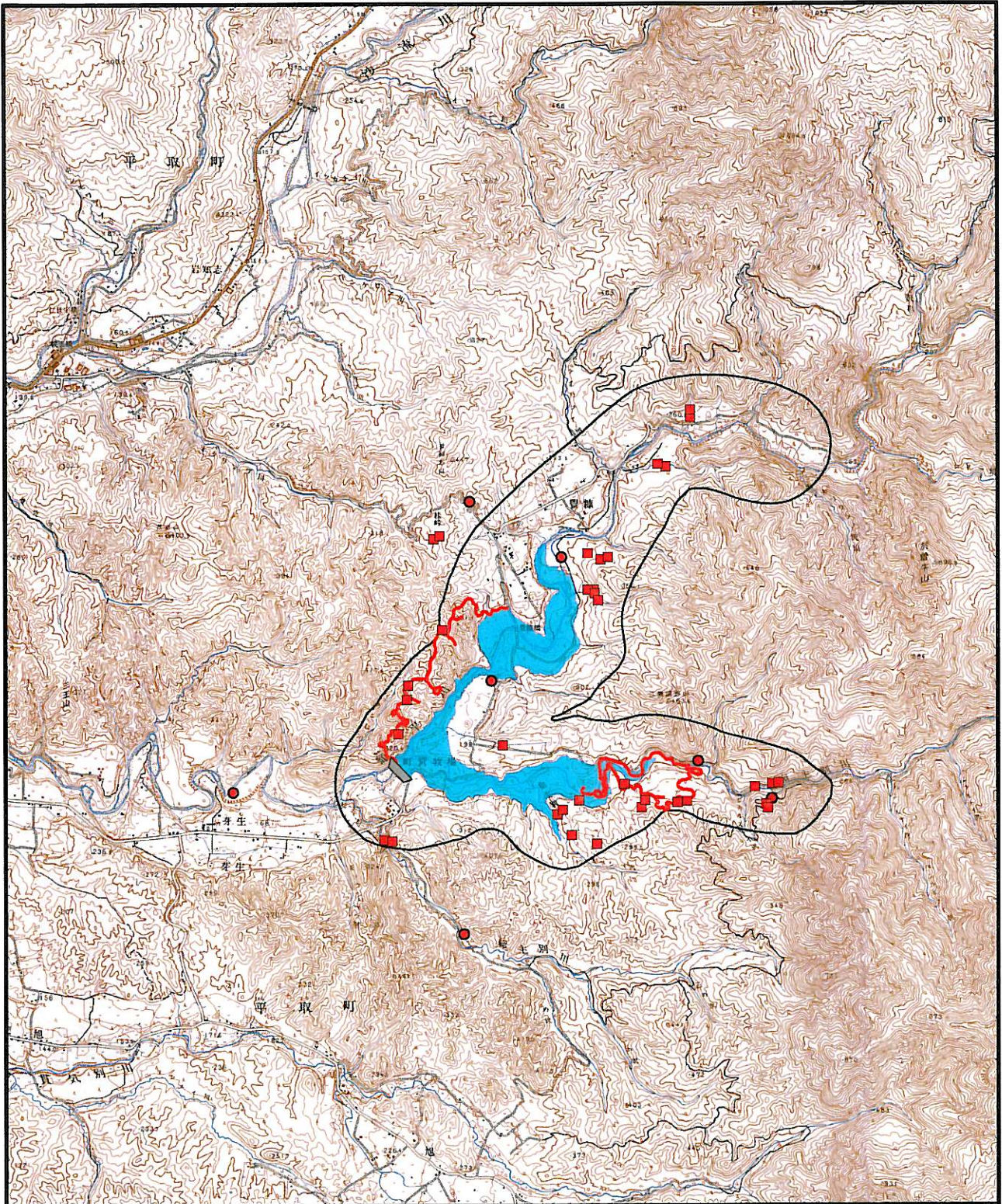
調査の方法

調査項目		調査方法	
哺乳類相 (重要な種： エゾクロテ ン、コウモリ 類の重要な 種調査を含 む)	小型哺乳類	トラップ法	各調査地にはじき罠(プラスチック製スナップトラップ)20 個および墜落缶(プラスチック製ビットフォールトラップ)5 個を設置し、各月で連続 3 日回収を行った。
	中～大型 哺乳類	フィールド サイン法	踏査により足跡、糞、食痕等のフィールドサインの確認を行った。
	コウモリ類	コウモリ類 調査	バットディテクター調査、かすみ網による捕獲調査を実施した。
	哺乳類相	無人撮影法	赤外線センサーによる熱源感应式のカメラを用いて、哺乳類の無人撮影を実施した。







調査日程

調査項目	調査時期
トラップ法	平成 16 年 6 月 1～5 日、11～14 日 平成 16 年 8 月 3～7 日 平成 16 年 10 月 6～10 日
フィールドサイン法	平成 16 年 10 月 26 日、27 日
コウモリ類調査	平成 16 年 6 月 22～25 日 平成 16 年 7 月 21～23 日 平成 16 年 8 月 23～27 日 平成 16 年 9 月 22～24 日
無人撮影法	平成 16 年 6 月 1～17 日 平成 16 年 7 月 6～23 日 平成 16 年 8 月 3～9 月 7 日 平成 16 年 9 月 24～10 月 27 日

1. 平成16年度調査結果について

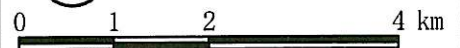


凡例

- | | | | |
|---|--------|---|----------------|
|  | ダム堤体 |  | トラップ法 調査地点 |
|  | 貯水予定区域 |  | 無人撮影法 調査地点 |
|  | 調査地域 |  | フィールドサイン法 調査経路 |

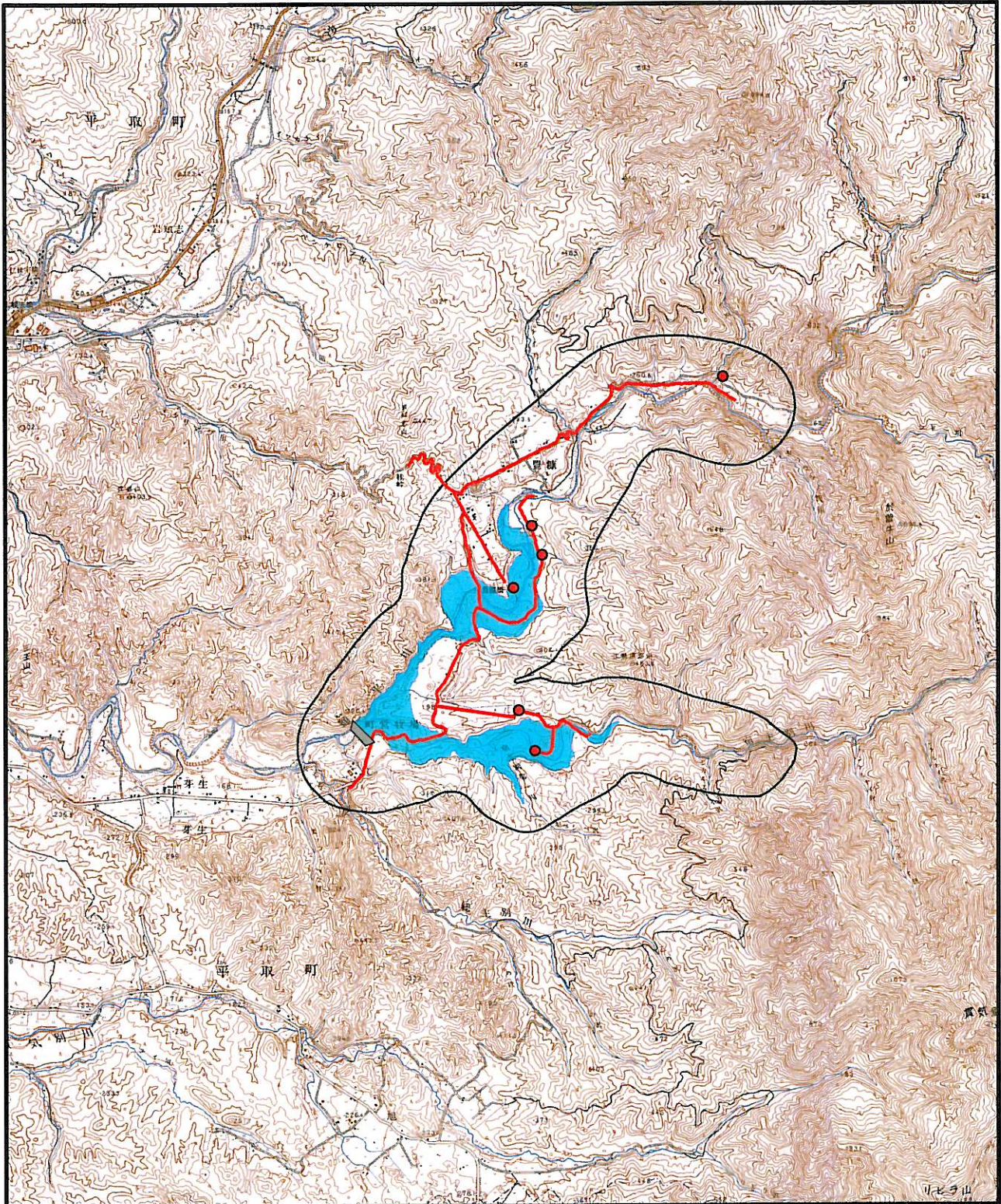


Scale = 1:75,000








哺乳類相 調査地域・経路・地点

1. 平成16年度調査結果について



凡例

-  ダム堤体
-  貯水予定区域
-  調査地域
-  捕獲調査地点
-  調査経路



Scale = 1:75,000

0 1 2 4 km

コウモリ類調査地域・調査経路・調査地点

平成 16 年度調査結果

哺乳類相調査

調査の結果、下表に示す 10 科 16 種類の哺乳類が確認されました。

科名	種類名
キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ
ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ
	ニホンコテングコウモリ
	ニホンテングコウモリ
ウサギ	エゾユキウサギ
リス	エゾシマリス
	エゾモモンガ
トガリネズミ	エゾトガリネズミ
	オオアシトガリネズミ
ネズミ	エゾヤチネズミ
	エゾアカネズミ
	エゾヒメネズミ
クマ	ヒグマ
イヌ	キタキツネ
イタチ	エゾクロテン
シカ	エゾシカ
10 科	16 種類

トラップ法による調査では、6 月には 3 種類 8 個体、8 月に 4 種類 22 個体のネズミ類が捕獲されました。もっとも多く捕獲されたのはエゾアカネズミでした。

コウモリ類の捕獲調査では、6 月に 4 種類 7 個体、7 月に 4 種類 14 個体、8 月に 3 種類 9 個体、9 月に 4 種類 6 個体のコウモリ類が捕獲されました。

無人撮影法では、6 月、7 月には 5 種類、8 月には 6 種類、9 月に 4 種類の哺乳類が確認されました。キタキツネ、エゾシカは毎月確認されました。

種名	調査方法	6月			7月		8月			9月	
		ト	コ	無	コ	無	ト	コ	無	コ	無
キクガシラコウモリ			1		2			5		2	
ヒメホオヒゲコウモリ			1		4					1	
ニホンコテングコウモリ			1		4			3		2	
ニホンテングコウモリ			4		4			1		1	
コウモリ類											
エゾユキウサギ											
エゾシマリス											
エゾモモンガ											
エゾトガリネズミ		1					1				
オオアシトガリネズミ		2									
エゾヤチネズミ		5					1				
エゾアカネズミ							12				
エゾヒメネズミ							8				
ネズミ類											
ヒグマ											
キタキツネ											
エゾクロテン											
エゾシカ											
合計	種類数	3	4	5	4	5	4	3	6	4	4
	個体数	8	7	-	14	-	22	9	-	6	-

調査方法の凡例：ト...トラップ法、コ...コウモリ類捕獲調査、無...無人撮影法

重要な種調査

重要な種として、下表に示す 2 科 4 種類が確認されました。

科名	種類名	文化財保護法	種の保存法	環境省 RDB	北海道 RDB	確認状況
ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ			IB 類	危急	6 月に 1 個体、7 月に 4 個体、9 月に 1 個体が捕獲調査によって確認された。
	ニホンコテングコウモリ			II 類		6 月に 1 個体、7 月に 4 個体、8 月に 3 個体、9 月に 2 個体が捕獲調査によって確認された。
	ニホンテングコウモリ			II 類		6 月に 4 個体、7 月に 4 個体、8 月に 1 個体、9 月に 1 個体が捕獲調査によって確認された。
イタチ	エゾクロテン			不足		無人撮影法によりエゾクロテン 1 頭を確認した。環境は、額平川左岸地域(豊糠地区)のカラマツ植林地に囲まれた無名沢沿い。うっ閉度の高い湿性広葉樹が占める沢沿いの環境であった。
2 科	4 種類	-	-	4 種類	1 種類	4 種類

表中の重要な種の略号

環境省 RDB

IB 類：絶滅危惧 IB (絶滅の危機に瀕している種。IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)

II 類：絶滅危惧 II 類 (絶滅の危険が増大している種)

北海道 RDB

危急：絶滅危急種 (絶滅の危険が増大している種または亜種)